

主な設置機器

当財団は、耐火物の研究開発、評価技術に特化した機関として、耐火物の使用条件を考慮した高温での試験に特徴を有しています。以下、高温特性、観察・分析・シミュレーション解析、成形機・加工機、加熱炉に分けて、それらに関連する設置機器を紹介します。

★ 物理特性

熱間 熱間で特性を測定する装置

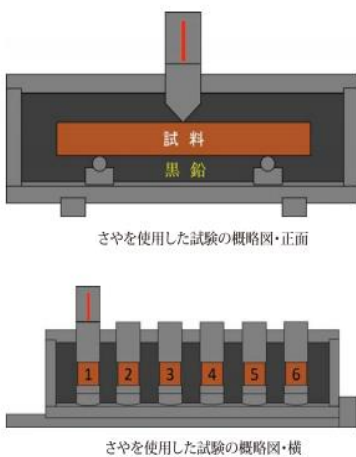
熱間曲げ強さ試験装置 (JIS R 2656に準拠)



設置 年度	2014年度
型 式	NTF-1600-106型
製 造 所	日進機械
仕 様	ロードセル；10kN 制御方式；変位制御 および荷重制御 計算機能；弾性率・破壊 エネルギーの計算・出力 試験温度；1400℃以下 雰囲気 ；大気雰囲気炉 試験片セット数 ；1昇温にて6本以上の試験可能 規格 ；JIS R 2656に準じた試験が実施 可能
用 途	耐火物などの特性を評価するうえで、 高温 下での強度 は重要な項目である。この装置 では、クロスヘッドの変位を別に測定でき 、変位-荷重曲線から弾性率、破壊エネル ギーの計算が可能である。

事例紹介

・材質により曲げ強さの温度依存特性が異なった。



非酸化物試料の場合の熱間
曲げ試験 概念図

(サヤ内にカーボンブリー
ズにて試料をセット)

